

# 米国の労働政策

政府によるITの活用

12

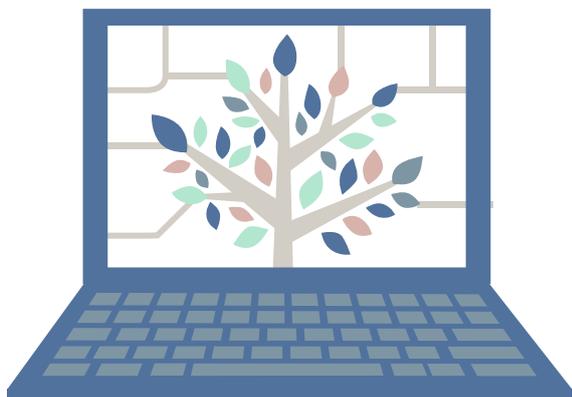


# 3. 政府によるITの活用

## 3.1. CareerOneStop<sup>57</sup>

CareerOneStopは、求職者、学生、社会人、雇用主向けの連邦労働省(DOL)のポータルサイトである。労働統計局、連邦教育省、連邦商務省経済分析局、連邦商務省国勢調査局など複数の省庁のキャリアに役立つデータを集約する。「キャリア探求」「教育訓練」「求人検索」「スキル探求」「給与相場」「産業情報」などに分類されたさまざまな情報と機能を提供する。具体的な機能は以下のとおり(一部抜粋)。

- 求人情報の検索 (Job Search)
- 退役軍人向けの求人検索 (Veterans Job Finder)
- 約900種類の職業探求 (Career Profiles)
- さまざまな職業に就く人のビデオ (Career Videos)
- 職業比較 (Compare Occupations)
- グリーンキャリアに関する情報 (Green Careers)
- 産業について知る (Research Industries)
- 地元地域で受けられる訓練 (Local Training Finder)
- 見習い訓練に関する情報 (Apprenticeship Finder)
- 奨学金に関する情報 (Scholarship Finder)
- スキル査定 (Skill Matcher)
- 履歴書の作成ガイド (Resume Guide)
- 職種別の給与相場 (Salary Finder)
- 地域ごとの賃金比較 (Compare Local Wages)
- 各地域の労働市場情報 (Labor Market Information)





## 3.2. My Next Move<sup>58</sup>

### 1) Find Local Help

アメリカンジョブセンター、失業手当の申請方法に関する各州政府のページ、連邦政府が実施する職業訓練の情報など行政サービスの検索サイト。America's Service Locator から名称変更された。CareerOneStopから Find Local Help をクリックし、検索画面に「州名」「市名」「郵便番号」のいずれかを入力し、検索する。

### 2) America's Career InfoNet

学生、求職者、就業者、企業の人事担当者に、給与情報、雇用動向、就職に必要な免許や資格、雇用適性診断、職業紹介ビデオ、地域の会社検索など、雇用、労働、教育に関する情報やツールを提供するシステム。

2011年にDOLが開発した、特に学生、若年者、社会人1年生、長いブランクを経て再就職を目指す人を対象とするキャリア情報サイト。同省が運営する職種データベース「O\*NET OnLine」と連動し、900種類以上の仕事情報（必要なスキル、知識、能力、学歴、雇用成長率の見通し、給与相場など）をキーワードや業種で検索する。何を検索すればいいかわからない人向けに、60項目の質問に答え、興味関心に合った仕事を分析する「O\*NET Interest Profiler」機能もある。

「今後数年以内に急成長が見込まれる職種」「興味関心に合った職種」「登録訓練制度のある職種」「スキル・資格などに合った職種」、さらに「退役軍人向けの職種」のカテゴリーで検索することも可能。mySkills my Future とも連動し、職種別に求人情報（各州の公共求人求職サイトと連動）や教育訓練機関を調べることができる。

#### CareerOneStop トップ画面



出所：<https://www.careeronestop.org/> (last visited September 30, 2018)

<sup>57</sup> <https://www.careeronestop.org/> (last visited August 31, 2018)

### 3.3. mySkills myFuture<sup>59</sup>

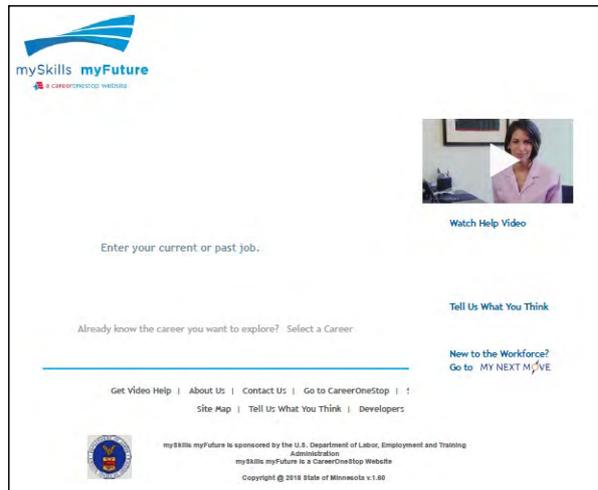
My Next Move トップ画面



出所 : <https://www.mynextmove.org/> (last visited September 30, 2018)

DOLが2010年に開設した、主に働いた経験をもつ求職者向けのキャリア情報サイト。現在または前職の職種を入力すると、これまでに習得したスキルを転用できる職種の一覧が、求人情報、給与相場、必要とする学位のリンクとともに表示される。求人情報には各州政府、企業、派遣会社のサイトから収集した情報が含まれている。必要な学位の欄に表示されている「Find Training」をクリックすると、各職種向けの教育課程をもつ大学・コミュニティカレッジの一覧が表示される。関連する免許や資格も検索可能。

mySkills myFuture トップ画面



出所 : <https://www.myskillsmyfuture.org/> (last visited September 30, 2018)

58 <https://www.myskillsmyfuture.org/> (last visited September 30, 2018)

59 <https://www.myskillsmyfuture.org/> (last visited September 30, 2018)



### 3.4. O\*NET OnLine<sup>60</sup>

O\*NETプログラムは米国で主要な職業情報源であり、急速に変化しつつある仕事の性質やそれが労働力や米国経済に与える影響を理解するために重要なデータである。O\*NET OnLineは、一般市民がO\*NETのデータベースにアクセスできるよう設計されたアプリケーションであり、さまざまな検索オプションで職業に関するデータを提供する。前掲のMy Next Moveと同様に、O\*NET OnLineは全国O\*NET 開発センターがDOLのために開発した。

O\*NET のデータベースには職業に関連したスキル、知識、作業活動、関心などの情報が含まれる。これらの情報はキャリア探索、職業カウンセリング、人事機能を促進するためにも利用される。O\*NETには900以上の職種に関する情報がある。各職業のタイトルとコードは2010年版標準職業分類システム (Standard Occupational Classification System, 略称SOC) にもとづいている。

O\*NETは企業、HRプロフェッショナル、求職者のいずれにも利用価値が高い。以下はO\*NETの利用目的の一例である。

#### 企業・HRプロフェッショナル:

- 職務記述書を素早く容易に作成
- 質の高い候補者プールを拡大
- 特定の労働者・職種向けの成功要因の規定
- 採用目標や訓練目標の精緻化
- 競争的な報酬・昇進システムの設計

#### 求職者:

- 自身の関心、スキル、職歴に合った仕事の検索
- 最新の労働市場データを用いてキャリアプロフィールを探索
- ドリームジョブを得るためのリサーチ

- 所得や仕事の満足度の最大化
- 特定の分野で成功するための方法リサーチ

#### 1) 職業情報の検索

キーワードまたはO\*NET SOCコードを入力して、特定の職業に関する情報を検索する。

#### 2) 職業の検索

業種、職種、高成長職種などから特定の職業に関する情報を検索する。

#### 3) 高度検索

能力、関心、知識、スキル、働き方などからO\*NETのデータを閲覧する。また、自身の作業活動、ツール、テクノロジー、スキル(基礎力、問題解決力、リソースマネジメント力、社会スキル、テクニカルスキル、システムスキル)などに応じて職業を選択できる。

#### 4) クロスワーク検索

SOC、職業辞典(DOT)、軍事職業分類(MOC)、教育プログラム(CIP)のコードまたは職種から特定の職業に関する情報を検索する。

<sup>60</sup> <https://www.onetonline.org/> (last visited October 26, 2018)

### 3.5. Virtual Career Network<sup>61</sup>

2010年7月に雇用訓練局 (ETA) の助成を受けて、全米コミュニティカレッジ協会 (American Association of Community Colleges) が統率する Consortium of Workforce Focused Organizationsが開設した特定産業での就職を目指す求職者向けオープンソース就職活動プラットフォーム。当初は、医療分野のヴァーチャルキャリアプラットフォームであったが、2018年8月現在は、医療分野、グリーンジョブ、交通産業の関連職種ならびに50歳以上の求職者向けの給与相場、必要な学位や資格、教育訓練機関、求人情報を提供している。ETA と全米退職者協会 (AARP) が資金提供し、XPAND Corporationが運営している。

Virtual Career Network トップ画面

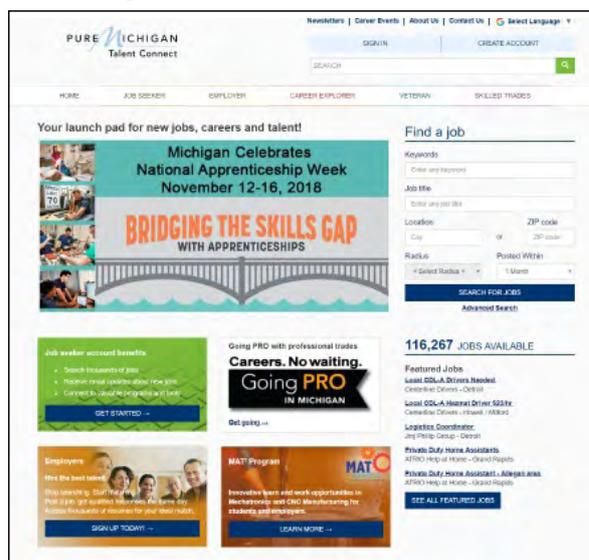


出所 : <https://www.vcn.org/index.php>  
(last visited September 30, 2018)

### 3.6. Pure Michigan Talent Connect

米国では各州に州政府運営の求人求職サイトが存在する。ここではミシガン州の「Pure Michigan Talent Connect」を紹介する。同サイトは、ミシガン州労働力開発局と Michigan Economic Development Corporationが運営する。また、2015年3月に高度スキル労働者を必要とする企業と技能労働者との間のギャップを解消するためにタレント投資局 (Talent Investment Agency、略称TIA) が設立された。TIAは労働者のための職業準備プログラム、キャリア教育、訓練、雇用支援、失業保険の調整などを行う。なお、2018年10月現在の求人数は約11万6,000件である。

Pure Michigan Talent Connect トップ画面



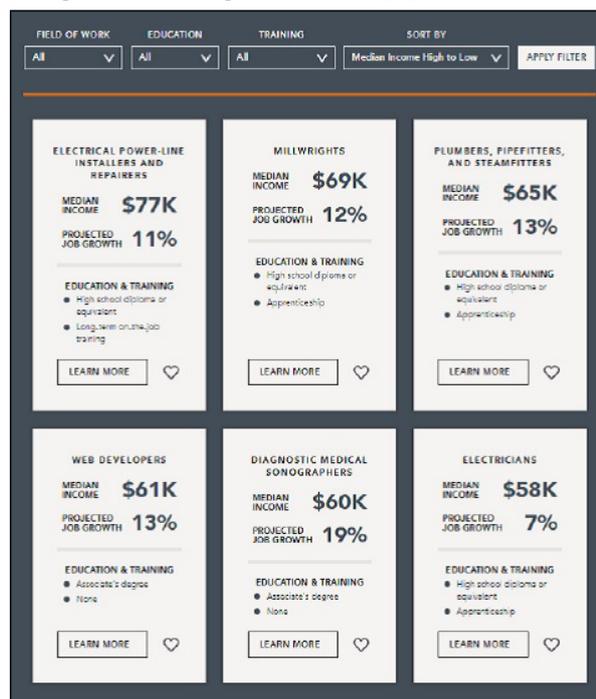
出所 : <https://www.mitalent.org/>  
(last visited October 26, 2018)

61 <https://www.vcn.org/index.php> (last visited September 30, 2018)



また、ミシガン州では2024年まで専門職・技能職の労働力不足が続くと予測されており、Going PRO in Michiganというウェブサイトを立てて、高度製造業、自動車産業、建設業、エネルギー、医療、IT分野で働く技能労働者の育成に力を入れている。Pure Michigan Talent Connectのウェブサイト上にGoing PRO in Michiganのリンクがある。Going PRO in Michiganではこれらの分野の求人情報、訓練情報、給与に関する情報などを提供している。

#### Going PRO in Michigan のキャリア情報



代表的な職種の平均所得、雇用成長予測、必要な学歴・訓練、見習い制度の有無などを掲載

出所：<https://www.going-pro.com/about/>  
(last visited October 28, 2018)

## 1) Pure Michigan Talent Connect 求職者向けサービス

Michigan Works! (ミシガン州のアメリカンジョブセンター) に求職登録していなくとも、下記のサービスを利用できる。

### ①ユーザー登録

「求職者アカウント」を選ぶ。氏名、住所、電話番号、メールアドレス、現在の求職状況（積極的に就職活動中、求人情報に興味あり、キャリアを探求中）、希望のポジションレベル（インターンシップ、エントリーレベル、経験者—管理職以外、マネジャー/スーパーバイザー、エグゼクティブ）、最終学歴、資格・免許、希望のキャリアカテゴリー、希望のキャリアタイプとそれぞれの経験年数、トップスキル（例：会計、Adobe Photoshop）を入力し、希望の地域を選ぶ。

パートタイム希望の場合は「Available Part-Time」にチェックを入れる。新卒者または大学卒業予定者は「Recent/Future College Graduate」にチェックを入れ、大学名、専攻、卒業年月を入力する。退役軍人の場合は「I am a Veteran」にチェックを入れると、求人情報の登録後の24時間、一般公開される前に優先的に情報を閲覧できる。LinkedInの公開プロフィールやブログなど、個人のウェブサイトのURLも登録が可能（オプション）。

### ②求人情報の検索

掲載期間（1日以内、1週間以内、2週間以内、1か月以内）を選択。キーワード（例：プロジェクトマネジャー）、肩書き、職業コード、地域、学歴（不問、

高校卒業、大学中退、短期大学卒業、大学卒業、修士修了以上)、キャリアカテゴリー、仕事のレベル(インターンシップ、エントリーレベル、非管理職の経験者、管理職、役員、見習い)、給与希望額、仕事の特徴(フルタイム、パートタイム、コミッション、季節労働など)を入力する。人材派遣・紹介会社の情報を除く場合は「Staffing Company/Recruiters」にチェックを入れる。その他求人サイトの情報を除く場合は、「Jobs from other boards」にチェックを入れる。

検索結果のページでは、職種、事業所名、地域、掲載日、キャリアタイプが表示される。職種をクリックすると求人の詳細が別ウィンドウで表示される。応募方法を閲覧するには「How To Apply」をクリックする。クリック件数はカウントされ、事業主の管理画面に反映される。検索結果は、MY WORKSPACE(マイページ)への保存、メールによる転送、印刷、SNS(Facebook、Twitter、LinkedIn)でのシェアが可能。検索条件は5つまで保存可能。条件に合った新着情報が毎日または毎週メールで届く。

### ③ MY WORKSPACE

#### a. 履歴書の作成・登録

履歴書を応募する企業に合わせて3種類まで保存できる。そのうち1つを雇用主に公開される第1履歴書(primary resume)に設定する。ただし、企業側の検索条件にひっかかるのは履歴書ではなくプロフィールの内容。履歴書の作成機能もあり、クロノジカル(職歴を新しい順に記載)、ファンクショナル(具体的なスキルを強調し、職歴は雇用主名、ポジション名、雇用期間のみ記載)、コンビネーション(クロノジカルとファンクショナルを合わせた形式で、

スキルと経験のもとに職務経歴を記載)の3種類のテンプレートの中からデザインを選ぶ。

#### b. お気に入りの求人情報

お気に入りの求人情報を30件まで保存できる。

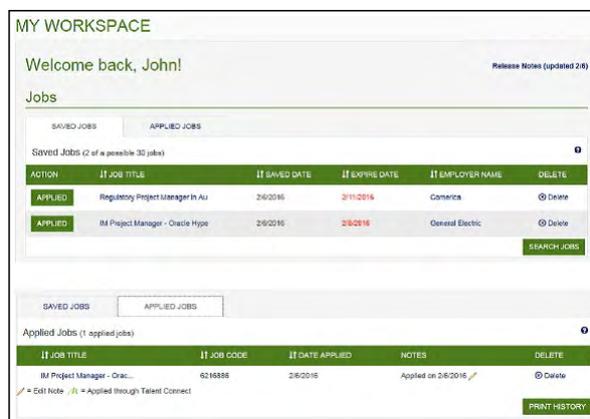
#### c. ファイルの登録

カバーレター、紹介状、成績証明書、文章力を示す記事や論文などのサンプルといった就職活動に使用する書類を30件まで保存できる。カバーレターなどの作成方法を一つ一つ案内するウィザード機能もある。

#### d. 履歴書の閲覧件数とプロフィールの検索回数

雇用主が履歴書を閲覧した回数と、候補者検索でプロフィールが検索された回数が表示される。

#### MY WORKSPACE トップ画面



出所: [https://www.mitalent.org/Media/Default/Files/Tutorials/JobSeeker\\_User\\_Guide.pdf](https://www.mitalent.org/Media/Default/Files/Tutorials/JobSeeker_User_Guide.pdf)  
(last visited October 28, 2018)



#### ④ キャリアマッチメーカー (Career Matchmaker)

業種や職種別の給与相場、必要とされるスキル、学位の検索。

#### ⑤ 州内の各種キャリアイベントの紹介

### 2) Pure Michigan Talent Connect 事業主向けサービス

ユーザー登録をするには、「雇用主アカウント」を選択し、内国歳入庁 (Internal Revenue Service、略称 IRS) から発行される雇用主識別番号 (Federal Employment Identification Number)、社名、住所、社員数、ウェブサイトの URL、業種、自分の氏名と電話番号、メールアドレスを入力する。ミシガン州外から移転を予定している、あるいは州内で事業所の設置を予定している事業所も利用することができる。

#### ① 求人情報のポスティング

求人申し込みはインターネット上で完了するため、Michigan Works! に行く必要はない。社名、勤務地、職種名、採用人数、キャリアカテゴリー、キャリアタイプ、職務内容を入力。次に応募要件として学歴、ポジションレベル、仕事の特徴、その他の要件を入力する。米国復興・再投資法にもとづく助成金によって創出された雇用の場合、「Yes」にチェックを入れる。

次に、応募方法を自由記入欄に入力する (メール、電話、FAX、カバーレターの添付の有無など)。

応募方法は、求職者が「How to Apply」をクリックするまで表示されない。求人の有効期限は最長 30 日まで指定できる。有効期間内に採用が決まったら、

管理画面から、応募要件を満たした候補者数と採用者数を入力し、「Deactivate」をクリックし、求人を取り消すことができる。30日を過ぎても決まらない場合、管理画面から再掲載する。管理画面で、求人情報の閲覧件数、「How to Apply」のクリック件数、保存件数を確認できる。

#### ② 人材の検索

キーワード、プロフィールに登録された求職状況、学歴、トップスキル、キャリアタイプ、希望のポジションレベルや勤務地をもとに人材を検索する。キーワードは、プロフィールに登録されたキャリアカテゴリー、キャリアタイプ、スキル、資格と照合される。新卒者や大学卒業予定者を絞り込み検索する場合は「Recent/Future College Graduates」にチェックを入れる。パートタイム希望者を検索する場合は「Available Part-Time」にチェックを入れる。条件を満たす人材が見つかったら、応募を促すスカウトメールを送る。氏名の横にチェックを入れ、複数の候補者に一斉送信できる。人材派遣・紹介会社は求人情報の掲載は可能だが、人材の検索機能は利用できない。

## 米国の労働政策 3. 政府によるITの活用

---

執筆／Keiko Kayla Oka (リクルートワークス研究所 客員研究員)

監修／村田 弘美 (リクルートワークス研究所)

制作進行／開地 康子 (リクルートワークス研究所)

発行日／2019年2月20日

発行／リクルートワークス研究所 グローバルセンター

〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17

リクルートGINZA8ビル

株式会社リクルート

TEL 03-6835-9200

URL [www.works-i.com/](http://www.works-i.com/)

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

©Recruit Co.,Ltd. All rights reserved.



---

参考資料等に掲載しているURLは各ウェブサイトへリンクしております。  
ただし、ページの移動もしくは閉鎖している場合がございます。

米国の労働政策  
3.政府によるITの活用

リクルートワークス研究所  
〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17  
株式会社リクルート  
TEL 03-6835-9200  
URL [www.works-i.com/](http://www.works-i.com/)